

71の3

広報

2004
NO.602

真剣勝負

けい古に励む剣士たち

エイ、ヤアー、面。
根雨剣道教室に通う剣士の元気な声が体育館に響きます。

黙想し精神を集中させてからけい古を開始。約1時間半、休むことなく真剣勝負の練習が続きます。

同教室に通う小学生は、3月下旬に開かれる全国大会に出場します。

出場選手は「全国の強豪を相手に自分の力を試したい」と意気込んでいます。

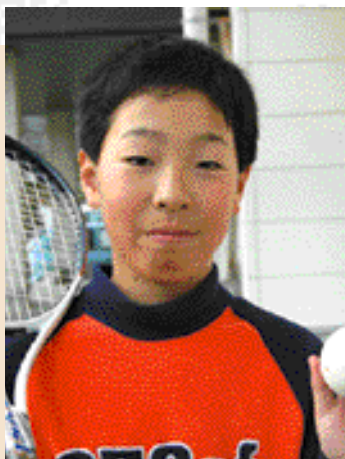
同教室は、毎週3回（水・金・日曜日）根雨社会体育館で開かれています。

（関連記事は2・3ページに掲載）

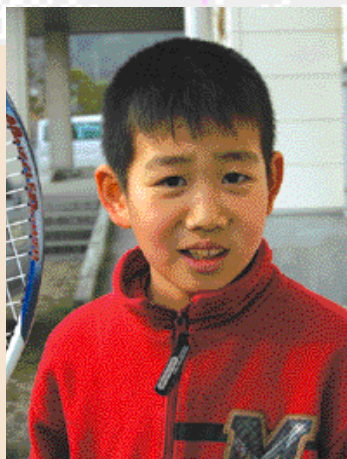
はばたけ ひのつ子たち

全国大会に出場

3月下旬に開かれる「ソフトテニス」「剣道」の全国大会に、日野町の子もたちが出場します。まちから全国に羽ばたく「ひのつ子」たちを紹介します。



安達健太さん
(黒坂小5年・下黒坂)
チャンスがあればスマッシュを決めたいです。目標はベスト16です。



槇原溪太さん
(黒坂小5年・黒坂)
目標は、予選を全勝して1位トーナメントに進出することです。

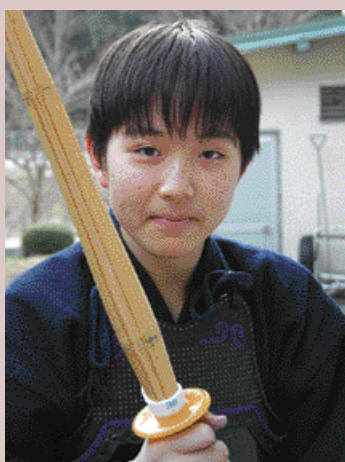
全国の強豪に挑戦

全国選抜少年剣道錬成大会に7人

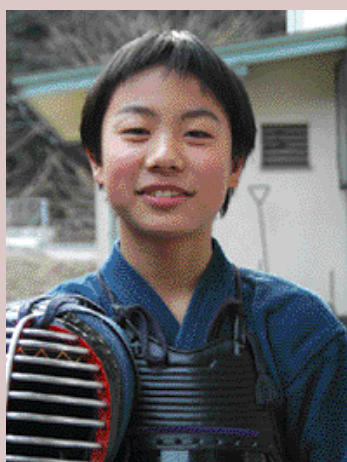
3月28日に茨城県水戸市で開かれる水戸武道館創立130年記念第45回全国選抜少年剣道錬成大会に、7人の小学生が出場します。

出場するのは、根雨剣道教室に通う小学生たちで、梅林和輝さん、田淵洋さん、谷内大樹さん、川端将太さん、藤原一世さん、木下成幸さん(以上根雨小6年)、吉田智紀さん(同小5年)です。

同大会は、全国各地から選抜された強豪チーム(昨年は384チームが参加)が集まる大きな大会です。



谷内大樹さん
(根雨小6年・濁谷)
全国の強豪を相手に自分の力を試したいです。面を決めたいです。



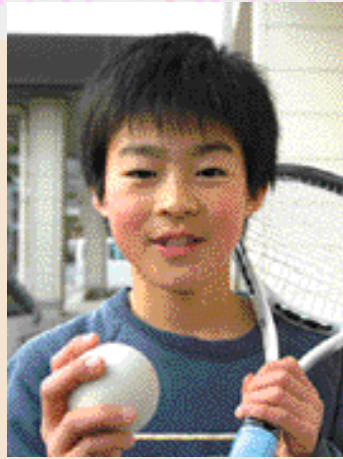
田淵 洋さん
(根雨小6年・三谷)
大会はレベルが高いのでベストをつくり、精一杯がんばりたいです。



梅林和輝さん
(根雨小6年・金持)
相手を揺さぶって小手を決めたいです。まずは1勝が目標です。



頭本憲明さん
 (黒坂小4年・下黒坂)
 自分からミスをしない
 ことを心がけ、予選を全
 勝で通過したいです。



西村賢人さん
 (黒坂小4年・福長)
 今年は予選を全勝して
 1位で予選を通過したい
 です。がんばります。



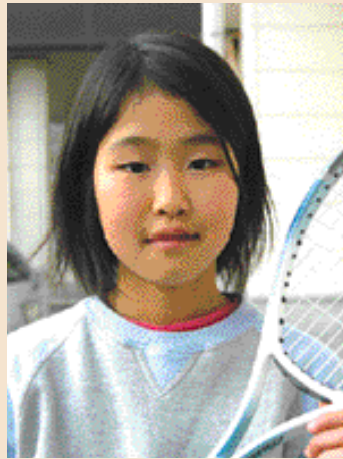
音田夏子さん
 (根雨小5年・野田)
 強い相手ばかりなので、
 練習してきたことを出し
 切って1勝したいです。



谷口優佳子さん
 (黒坂小5年・黒坂)
 昨年よりもいい成績を
 残したいです。サーブス
 エースをねらいます。



木村理沙さん
 (黒坂小2年・黒坂)
 全国大会は初めてです
 が、すべての試合に勝つ
 つもりでがんばります。



小谷沙世さん
 (黒坂小4年・小河内)
 得意なレシーブで攻め
 ていきたいです。1試合
 1試合がんばります。

予選全勝を目標に
 全国小学生ソフトテニス大会に8人
 3月29日から31日に千葉県白子町で開
 かれる第3回全国小学生ソフトテニス大
 会に、8人の小学生が出場します。
 小学5年の部には、榎原深太さん、安達
 健太さん、谷口優佳子さん(以上黒坂小5
 年)、音田夏子さん(根雨小5年)、小学4
 年生以下の部には、西村賢人さん、頭本憲
 明さん、小谷沙世さん(以上黒坂小4年)、
 木村理沙さん(黒坂小2年)が出場します。
 同大会は、各都道府県の予選を勝ち抜い
 た選手が出場する大会(昨年は300組が
 参加)です。



吉田智紀さん
 (根雨小5年・根雨)
 相手が上級生でも挑ん
 でいきます。1回でもい
 いから勝ちたいです。



木下成幸さん
 (根雨小6年・本郷)
 試合に自分の力を出し
 切り、いっしょうけんめ
 いやりたいです。



藤原一世さん
 (根雨小6年・津地)
 まずは1回戦を突破す
 ること。得意な小手をね
 らっていききたいです。



川端将太さん
 (根雨小6年・舟場)
 全国大会ということで
 緊張しています。1本面
 を決めて1勝したいです。



特集

男女共同参画社会に
ついて考える

男女が共に生きいきと 自分らしく生きるために

「男だから」「女だから」。

そういう固定的な考えにとらわれていませんか。

だれもが「自分らしさ」を発揮できれば、活動の分野や視野も広がり、人生をより豊かなものにできるでしょう。

このほど、日野町では、男女が互いに社会の対等なパートナーとして尊重し合える社会の実現に向けて「男女共同参画プラン」を策定しました。

男女共同参画社会の
実現はまちの重要な課題

日野町では、21世紀のまちづくりの方向性を示した第4次総合計画を平成14年3月に策定しました。

この計画は、将来のまちづくりの目標になる重要なもので、その中に「豊かな心を育て文化を創造するまちづくり」の項目があります。

この項目は、個性を尊重し、豊かな心で心身ともに健康な人づくりを進めるもので、「男女共同参画社会の確立」も重要な柱になっています。

近年、社会環境が大きく変化し、女性の社会進出が進んでいます。まちでは女性政策の推進を図り、男女があらゆる分野で共同し、個性や能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現が、これからのまちづくりにとって重要な課題として位置づけています。

プラン策定委員が

じっくり内容を検討

日野町では、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めるため、目標や方法など計画を作っていくことが必要と考え、「日野町男女共同参画プラン」を策定しました。

このプラン（計画）は、住民の皆さんの意見を広く取り入れていこうと、各種団体や一般公募者の12人を委嘱し、町男女共同参画プラン策定委員会を設置しました。

昨年9月12日に第1回目の委員会（景山享弘委員長）を開き、約1か月に1回のペースで計画の目的や内容、取り組み方法などの検討を重ねま



プラン策定の目的や内容を一つずつ検討する委員ら



委員会をまとめる景山さん

した。今年の1月23日、5回目の同プラン策定委員会で計画の原案をまとめ、町長に提出しました。

女性の社会参加を支援 一人ひとりが自分らしく

プラン（7か年計画）は「すべての人の人権が尊重される」「あらゆる場面に参画できる」「少子・高齢化に対応」「安心して働ける」の4つを基本目標に、一人ひとりが自分らしく輝いていけるまちづくりを目指します。

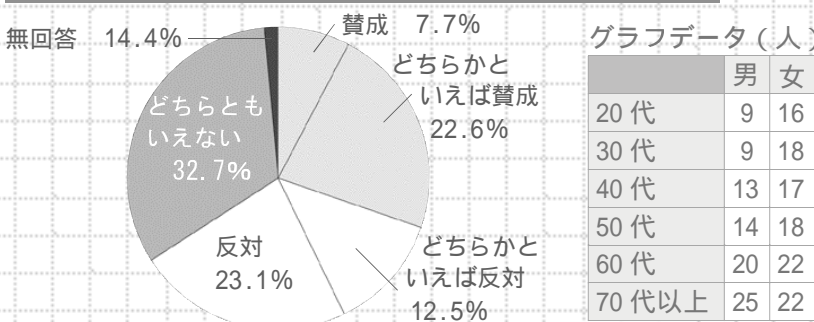
今後、女性の社会参加を支援するため、広報啓発活動、学習機会の提供、リーダー・団体養成などに取り組みます。また、女性に対する暴力（セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンス）などの相談体制を充実、子育て・介護支援体制などの整備も図っていきます。

家事分担の7割超が女性

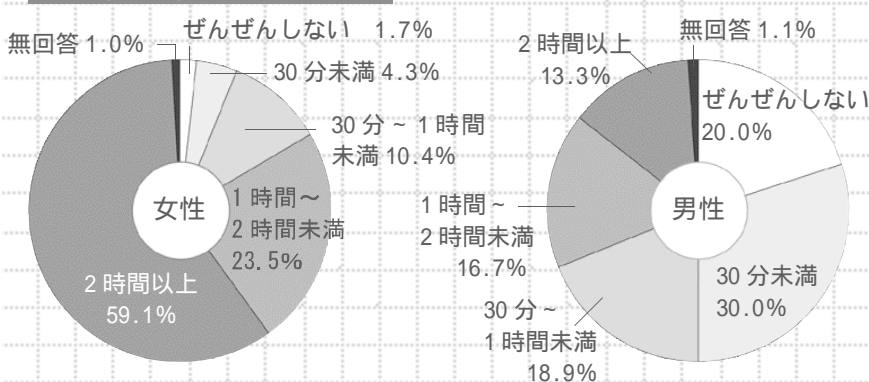
住民意識調査より

昨年2月に実施した住民意識調査（町内在住18歳以上の男女無作為抽出）の結果を見ると、「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方について、賛成意見が30・3%、反対意見が35・6%、どちらともいえないが32・7%という結果になりました。また、食事の準備、洗濯、

「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方について



1日（平日）の家事労働時間



買い物、掃除など家庭内の役割について、70%以上の女性が主に担当しているという結果が出ました。「男女共同参画」という言葉を知っていても、現実には、家事や育児など家庭のことは、女性が担当するという性別的役割分担の意識が強く、家事をする男性は、まだ少数だということが意識調査からうかがえます。

男らしく、女らしく。どんな意味でしょうか

世の中には、男性と女性の考え方で「男らしく、女らしく」という生物学的な性ではない、社会的文化的な性（ジェンダー）があります。

「男らしく、女らしく」とはどのようなことでしょうか。親の価値観で、子どもの行動や考え方を制限していませんか。そうした価値観の押しつけは、自由な考えや個性、発想をつぶしてしまうこともあります。

男女が対等なパートナー みんなで考えてみよう

男女が互いに、社会の対等なパートナーとして尊重し合い、喜びも責任も分かち合う「男女共同参画社会」を実現していくには、住民の皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。

だれもが自分らしさを十分に発揮できれば、活動の分野や視野も広がってきます。男女共同参画社会の実現に向けて、これからの男女のパートナーシップについて、身近なところから考えてみましょう。

みんなの ひろば

4年に1度の 安原地区で「うるう年」

4年に1度の「うるう年」に地域の親睦を図ると、2月29日、安原地区「うるう年」が、リバーサイドひの(下榎)で開かれました。この日は、地域の子どもから高



4年ぶりの宴会に盛り上がる会場

齢者まで約60人が集まり、福引やカラオケ、花笠音頭などさまざまな余興に楽しい時間を過ごしました。「うるう年」は、当家(今年は瀬田一志さん、瀬田精豪さん)の呼びかけで4年に1度のうるう年に開かれる親睦会で、同地区では大正6年から1度も欠かさず続けられています。参加者は「4年に1度しかないけれど、全員が集まって顔を合わせることはすばらしいことです」などと話していました。以前は上下2つの地区で催されていましたが、前回(平成12年)から安原全体で開かれています。また、大正時代からの様子が書かれたつづりが大切に受け継がれ、今年もその様子がつづられます。



「じょうずにできたかな」味見をする子どもたち

手づくりケーキの味は最高

町公民館でお菓子づくり教室

ケーキづくりに挑戦しようと、3月6日、お菓子づくり教室(町子ども週末活動支援ボランティアセンター主催)が町公民館で開かれました。参加した31人の子どもたちは、パウンドケーキとショートケーキを作る組に分かれて作業を開始。ケーキが焼きあがると甘い臭いが部屋中に漂い、うまくできたかななどと言いつつ一足先に味見をしていました。生クリームを塗る作業は、下級生の担当で、思い思いに仕上げていました。できあがったケーキは全員で食べました。

楽しい運動でさわやかな汗

ニュースポーツ教室



大人気の楽しいキンボール

体を積極的に動かして健康な体づくりを目指すとして、2月4日・25日、ニュースポーツ教室を日野中学校体育館で開きました。教室に参加した延50人は、体育指導委員の指導を受けながら、大きなボールをキャッチし合う「キンボール」や氷上スポーツのカーリングの室内版「カローリング」などに挑戦。どの種目も年齢に関係なく、気軽に楽しめることあって教室は好評でした。

恵まれた自然を 残していこう

環境を考える講演会



真剣に話しを聞く参加者

自分たちが住む地域の自然環境について考えようと、3月7日、環境を考える講演会(黒坂コミュニティー協議会主催)が町公民館で開かれました。

講演会には町内から約40人が参加。日野総合事務所福祉保健局職員丸山栄人さんを講師に招き、水質や大気汚染の原因などについて考えました。参加者からは、ダイオキシンや鳥インフルエンザ、犬猫のフン公害などについて積極的な意見が出ていました。

同協議会環境部長の後藤長寿さんは「環境について真剣に考え、今後の生活に役立ててほしい」と話していました。

地域の観光資源を見直そう

ひのぐんの魅力シンポジウム



まちの魅力について熱く語るパネラーたち

者から「身近な観光資源を知れて良かったが、それをどう活用していくかが今後の課題である」などと報告がありました。

その後の「観光による元気な日野郡づくり」をテーマにした意見交換会では、日野町から石田茂雄さん(黒坂)が司会役、森田順子さん(根雨)が取り組みを報告、勝瀬節雄さん(根雨)が意見集約役として出演しました。

日野郡の観光資源を掘り起し、魅力ある地域づくりを考えようと、2月28日、ひのぐんの魅力シンポジウムがJA鳥取西部日野町支所で開かれました。

シンポジウムには、日野郡内から約80人が参加。郡内の自然や観光資源を見直し、その活用方法について話し合いました。

始めに、昨年11月に催された地元魅力再発見ツアーの報告があり、ツアー参加

森田さんは、オシドリグループを代表して、親切な案内人がいなければ、感動を与えることはできないと思います。これからは案内ボランティアの育成が大切な課題です。今後もオシドリを通じて全国の人々と交流を深めていきたいです」と話し、勝瀬さんが「今の観光施設は点。それを線で結んでいくことが日野郡全体の活性につながるのでは」と全体をまとめました。

一人ひとりが輝けるまちに



人権について一人ひとりが考える

各地区で小地域座談会生活の中にあるさまざまな人権問題について考えようと、3月8日、上本郷地区の小地域座談会が上本郷公民館で開かれました。

参加した約15人は、暮らしの中の人権について話し合い「人と人との関係は、家庭や地域から始まる。一つの輪になることが大切では」となど積極的に意見を述べていました。

小地域座談会(町人権・同和推進協議会主催)は、人権を大切にしたいというまちづくりを進めようと、毎年、町内全地域での実施を目標に取り組んでいます。

地域の問題や課題を考える

野田地区がワークショップを開く

自分たちの住む地域をもっとみんなで考えようと、3月6日、野田地区(山脇勉自治会長)で、野田地区ワークショップが開かれました。

この日は、同地区の子どもから高齢者まで約50人が参加予定では外に出かけ、探索地図を作りながら地域の課題や魅力を探索しようとしていましたが、悪天候のため、野田みちくさの館を会場に、室内で話し合いをしました。

参加者は、人が集まるもの

「自然まるごと」「自慢でもの」「未来に残したいもの」の4班に分かれ、年代を超えて積極的に意見を出し合っていました。

全体発表では、各班が意見をまとめ「河川整備をして散策道を作ってみては」「世代を超えた体験学習をしていきたい」「地域の歴史の掘り起すには、みんなで学習する必要があります」などと発表しました。

ワークショップは、自分たちの住んでいる地域を改めて



各班ごとに問題点や課題について話し合う

見つめ直し、地域全体で問題や課題を見つけ出す方法です。

住みよい地域にするには、どうすればいいのか話し合い、みんなでその方法を考えていく取り組みで、野田地区では、平成14年11月に第1回目を開き、今回で3回目の話し合いになりました。

忘れずに納めましょう 国民年金保険料

国民年金は、一人ひとりの老後の生活を支えていく大切な制度です。

20歳から60歳になるまでのすべての人が加入しなければ

平成16年度の国民年金保険料

保険料	月額	全額前納保険料	半年前納保険料
定額保険料	13,300円	156,770円	79,150円
	年間159,600円	2,830円の割引	650円の割引
付加保険料	13,700円	161,480円	81,530円
	年間164,400円	2,920円の割引	670円の割引

保険料をまとめて納めると、割引きもあり毎月納める手間が省けます。全額前納の納期限は、4月30日(金)までです。

なりません。平成16年度の保険料は、月額1万3300円(前年と同金額)で、年金受給額を増額したい人は付加保険料400円を上乗せした金額(月額1万3700円)です。また、毎月納める方法と1年間の保険料をまとめて払う全額前納、「4月から9月」「10月から3月」の年2回に分けて支払う方法(半年前納)があります。前納すると保険料の割引きがあります。国民年金保険料の納め忘れがあると、将来年金が減額されたり、受け取れなくなったりすることがあります。将来の生活を安心してするため、保険料は忘れずに納めましょう。

申請免除制度

経済的な理由で、保険料を納めるのが困難な人は、保険料免除の申請ができます。手続き等詳しくは、役場住民ふ

れあい課まで問い合わせてください。

学生納付特例制度

学生でも20歳になると国民年金に加入し、保険料を納めなければなりません。しかし、年収が一定以下の学生は免除が受けられます。卒業後10年以内に追納すると、老後の生活を保障する老齢基礎年金が満額受け取れるようになります。

申請は、印鑑、年金手帳、在学証明書または学生証(コピー可)を持参し、役場住民ふれあい課で手続きを行ってください。

年金に関する相談

毎月第2木曜日に年金相談を山村開発センターで開いています。年金の制度や手続き方法など気軽に相談ください。【問合せ先】米子社会保険事務所(電話0859 34 6111)または役場住民ふれあい課(電話72 0333)

生活リハビリ教室などの送迎に活用

保健活動車を購入



機能訓練事業の送迎などに使います

このたび、機能訓練事業など参加者の送迎に活用しようと、町健康福祉センターが保健活動車を導入しました。生活リハビリ教室などの参加者が増えたため、参加者の利便性を考え、県の助成などを受けて購入しました。車は、高齢者でも乗り降りがしやすく、荷物も多く積める便利な構造になっています。今後、介護予防事業などの高齢者福祉活動に活用します。

危険なときは鳴らします

黒坂警察署が小学校に防犯ホイッスルを寄付



ホイッスルの音は危険信号

子どもたちを犯罪から守ろうと、2月24日、黒坂警察署が町内小学校に防犯用ホイッスルを寄付しました。ホイッスルは、

子どもたちを犯罪から守ろうと、2月24日、黒坂警察署が町内小学校に防犯用ホイッスルを寄付しました。ホイッスルは、

根雨・黒坂小学校の全校児童に配られ、児童たちはカバンなどに付けています。学校では「身の危険を感じたときは、思いっきりホイッスルを吹いて周りの人に知らせるように」と子どもたちに指導していますので、ホイッスルの音が聞こえたら協力し合って子どもたちを守ってください。



まちのホームページが 新しくなりました

アドレスは
<http://www.town.hino.tottori.jp/>

日野町役場の公式ホームページが、3月18日から新しくなり内容も充実しました。

新しいアドレスは、<http://www.town.hino.tottori.jp/>で「くらし」や「健康・福祉」などコーナーが増えたほか、意見交換の場「掲示板」、だれでも写真が投稿できる「ひの写真館」、暮らしに役立つ「便利帳」、催し案内がメールで届く「メール会員」、オシドリの動画が見れるなど楽しい内容になっています。

皆さんのアクセスをお待ちしています。

なお、ホームページは、パソコンなどからインターネットを経由して見ることができます。

【問合せ先】 役場企画振興課（電話 72 - 0332）

事故のないまちに

春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動が、

4月6日（火）から4月15日（木）まで行われます。

期間中は「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基

本に、「自転車の安全利用」

「シートベルトとチャイルド

シートの正しい着用の徹底」

を重点に推進していきます。

一人ひとりが交通ルールとマナーを守り、事故のない明るいまちを目指しましょう。

転倒骨折を防ごう

ぼかぼか教室希望者募集

寝たきりの原因となる骨折

や転倒を防ぐ「ぼかぼか教室」

の希望者（団体）を募集しています。

対象 老人クラブ、各自治会

などの団体
内容 健康運動指導士による



楽しい運動です。

場所 各団体の

希望の場所

回数 年2回

（半年に約1回

程度）

日程 相談により調整

申込み 4月30日（金）まで

問合せ 町在宅介護支援セン

ター（電話 72 1852）

平成16年度の「ごみ収集カレンダー」できました



カレンダーは、自治会を通じて各家庭に配布しています。まだ残部がありますので、ほかに必要な方は役場地域整備課か黒坂支所までお出かけください。

カレンダーには、ゴミの分別の仕方など詳しく載せていますので、よく読んで参考にしてください。

めざそう循環型社会

VOL.

4

ゴミの出し方豆知識

ゴミを減らそう



可燃ゴミの出し方

今月は「可燃ゴミの出し方」を紹介します。

収集日の朝8時までに、

きちんと分別して出しましょう。

ポイント

生ゴミなどは、水切りを十分にして重さ10キログラム以内にしてください。

食用油は紙に含ませるか、凝固剤で固めて出してください。

袋に入らないものは6センチ以内にし、小物シール（10枚つづりで300円）を貼って出してください。

紙おむつは汚物を取り除き、1度に10枚程度を他のゴミと一緒に出してください。

草取りの土は、よく払って草を乾燥させてから出してください。

収集日を増やしました

平成16年度は国民の祝日のうち、4月29日（みどりの日）、7月20日（海の日）、9月23日（秋分の日）は、休まず収集します。



本番さながらのステージづくりに挑戦する参加者

舞台裏に興味津々

ホール舞台技術ボランティア講座は大好評

「舞台はこうして作られる」

をテーマに舞台技術を学ぶ、ホール舞台技術ボランティア講座を、2月25日から27日の3日間、町文化センターホー

ルで開きました。

講座には、3日間で延べ21人が参加。境港市文化振興財団の角本豊さんを講師に迎え、照明、音響などの基礎や大小道具づくり、機材操作に挑戦しました。

また、講座の最終日には、コンサートを想定した音響や照明準備の実演があり、開演から終演までの舞台の流れについて学びました。参加者は「めったに見られない舞台裏を知ってうれしかったです。今度は、ホールの催しにスタッフとして参加してみたいです」と話していました。

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

図書館情報

カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

○印が休館日です

展示コーナー

第47回県美術展覧会（県展）
入選作品展（日本画・洋画・工芸・写真）
4/7（水）～4/28（水）

文化センターの催し

琴名流大正琴睡の会演奏会

4月11日（日）

開場 正午

開演 午後12時30分

入場料 無料

桂小文吾師による落語もあります。

アニメ上映 名探偵コナン

4月17日（土）2回上映

上映時間

午前10時30分

午後1時30分

料金

大人 1300円

小人 800円

親子ペア 2000円

図書館の催し

布絵本づくり

4月12日（月）午後1時

木のおもちづくり

4月11日（日）午前9時

おはなし会

4月24日（土）午前11時

日野町食生活改善推進協議会の皆さんオススメ料理④

～家庭で簡単に作れるレシピを紹介～

めん揚げ麺の酢豚風あんかけ

インスタントラーメンにひと工夫

【栄養】

- ▶エネルギー 630kcal
- ▶タンパク質 18.1g
- ▶脂質 28.8g
- ▶カルシウム 229mg
- ▶塩分 6.1g

【材料】 1人分

即席めん（90g）、タマネギ（30g）、ニンジン（15g）、ピーマン（5g）、絹サヤ（3枚）、豚肉薄切り（35g）、ラッキョウ（5g）、干しシイタケ（1g）、タケノコ（ゆで10g）、油（5g）、しょうゆ（5cc）、酒（2.5cc）、砂糖（5g）、ケチャップ（6g）、酢（4cc）、片栗粉（4g）

【作り方】

- ①干しシイタケは水で戻し、薄切りにする。
- ②ニンジン、タマネギ、ピーマン、タケノコは薄く切り、豚肉はひと口大、絹サヤは半分に切る。
- ③フライパンに油を熱し、豚肉を炒め、①②を炒める。シイタケの戻し汁50ccと調味料を加え、水溶き片栗粉でとろみをつけ、ラッキョウを加えて火を止める。
- ④即席めんを油でさっと揚げる。手で割って器に盛り③をかける。



4月 暮らしのカレンダー

APRIL (卯月)



1 木	
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	不燃・資源ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) 心配ごと相談、子育て・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター 午前9時~午後3時 人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 健康相談 町公民館 午前9時~午前10時
6 火	
7 水	発泡スチロール・電池の収集日(1班)
8 木	発泡スチロール・電池の収集日(2班) 年金相談 開発センター 午前10時~午後2時 不要犬・猫引取り日 日野保健所
9 金	発泡スチロール・電池の収集日(3班) ポリオ予防接種 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分
10 土	
11 日	第21回鳥取県カヌー選手権大会 下櫃(日野川) 開発センター休館日
12 月	不燃・資源ゴミの収集日(根雨・日野地区)
13 火	乳幼児相談 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分
14 水	発泡スチロール・電池の収集日(4班)
15 木	発泡スチロール・電池の収集日(5班)
16 金	発泡スチロール・電池の収集日(6班)

17 土	行政相談 開発センター 午前9時~午前12時
18 日	
19 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区) 犬の登録・狂犬病予防接種 (日程は3月5日おしらせ版に掲載)
20 火	すくすく親子教室 開発センター 午前9時30分~ 内容:ジェンダーについて 犬の登録・狂犬病予防接種 (日程は3月5日おしらせ版に掲載)
21 水	発泡スチロール・電池の収集日(7班) 犬の登録・狂犬病予防接種 (日程は3月5日おしらせ版に掲載)
22 木	発泡スチロール・電池の収集日(8班) 不要犬・猫引取り日 日野保健所
23 金	発泡スチロール・電池の収集日(9班)
24 土	
25 日	開発センター休館日
26 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
27 火	1歳6か月・2歳児健診 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分
28 水	
29 木	可燃ゴミは通常どおり収集します(みどりの日) 宝仏山道山開き 町歴史民俗資料館前 午前8時30分集合 泥リンピック・キックベースボール大会 津地地内 午前10時~
30 金	軽自動車税の納期限日



鳥取NOW NO.61 発売中
鳥取県の魅力がたくさん情報誌
【特集】鳥取環境大学ほか 1冊300円
書店または役場企画振興課で購入できます。

直通電話	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332
	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555
	根雨保育所	72 0238	日野保育所	72 1133

住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
公民館	74 0212	下櫃集会所	72 1191
黒坂保育所	74 0225	夜間・休日	72 0331

ワイワイとにぎわう調理場

舟場自治会が料理教室を開く

料理づくりを通じて親睦を図ろうと、2月29日、舟場自治会料理教室(佐々木俊雄自治会長)が、舟場コミュニティセンターで開かれました。

この日は地域の子どもから大人まで40人が参加。地産地消を進めようと、ソバを使った豆腐や鮭ずしなど8種類の料理づくりに挑戦しました。40人分の料理を作るとあって材料の量もたくさん

ん。調理場はにぎわいを見せ活気づいていました。

参加者は、冗談や日常会話に華を咲かせ、みんなで作ると楽しいです」と話していました。

できあがった料理は、昼に同センターで食べて、互いの親睦を深めました。

同地区公民館長の柳瀬清治さんは、みんなが集まると活気づく。今後も積極的に取り組んでいきたいです」と話していました。



「分量はこのくらいかな」料理づくりに楽しい時間を過ごす参加者たち

オシドリの観察1万5千人 今シーズンもにぎわうオシドリ観察小屋



来観者1万5千人目に喜びの小笹さん(右から2人目)

日野町に飛来するオシドリを見に、観察小屋(日野川近く)を訪れる来観者が、2月27日、1万5千人を超えました。記念の来観者は、小笹紀子さん(米子市)で、前後の2人とともに、オシドリグループ(池岡幸三代表)から記念品が贈られました。

小笹さんは「オシドリのかわいらしい姿が心をいやしてくれます。友人を連れてまた来たんです」と話し、案内役を務める同グループの森田順子さん(根雨)は「今シーズンは、オシドリも来観者数も最高です」と喜んでいました。



「ぼく大きいでしょ」
撮影 辻本宗範さん(京都市)

オシドリ いよいよ北へ

VOL. 73

観察小屋近くのサンシユウの花が咲いて、いよいよ北帰の季節となりました。今シーズンもご理解とご協力をいただきありがとうございました。おかげさまでオシドリの数も、観察に訪れる人の数も過去最高となりました。日野町のオシドリは、その名を全国各地にアピールしています。

連絡先 オシドリグループ事務局
森田(72 0271)

わたしの町

2月29日現在

(前月比)

人口	4,450人(-6)
男性	2,101人(-2)
女性	2,349人(-4)
世帯数	1,566戸(+1)

届出 2月11日～3月10日 敬称略

赤ちゃん誕生

宮田 健生	誠一・千津 男の子	本郷
山室 快莉	博和・知子 男の子	下樫

おくやみ

森田美恵子	87歳	根雨
瀬田 勇	91歳	安原
山縣まさ子	86歳	久住
安達 勝己	46歳	下菅

編集後記 今月は、ホームページ(H.P)のリニューアルに全力を投入。おもしろいHPができたと思いますので、ぜひアクセスしてみてください。剣道の取材の後、練習を見学しました。張りつめた空気が、乾いた竹刀の音、凜(りん)とした剣士の姿に背筋がピンと伸びました。少数でもがんばる剣士の全国1勝を祈ります。④